

Ⅱ 調査結果の概要

【概況】

平成24年度学校保健統計調査結果は以下のようになりました。

1 滋賀県の推移

身長、体重および座高は、男女とも昭和30年以降増加傾向でしたが、平成に入ってから横ばいで推移しています。

2 全国との比較

身長、座高は、男女とも多くの年齢で、全国平均値と同じかまたは上回り、体重は、男女ともほとんどの年齢で、全国平均値を下回りました。

全国順位 全国第1位・・・16歳男子座高、17歳男子座高、17歳女子座高
全国第2位・・・15歳女子身長、17歳女子身長
全国第3位・・・8歳男子身長

3 「親の世代」との比較

身長、体重は、ほぼ全ての年齢で「親の世代」である30年前（昭和57年度調査）の県平均値を上回っていますが、男子の体重の5歳、6歳などは親の世代を下回っています。

30年前と体格差が最も開く年齢は、男子では、身長、体重ともに12歳で、女子は、身長が9歳、体重が11歳です。

4 主な疾病・異常

「蛋白検出の者」の割合は、全ての学校種別で全国平均値を下回り、「心電図異常」の人の割合は、全ての学校種別で全国平均値を上回っています。また、幼稚園および小学校における「裸眼視力1.0未満」の人の割合は、全国平均値を下回っています。

「むし歯（う歯）」の人の割合は、平成20年度から全ての学校種別で減少傾向にあります。